

### 綾瀬・大和・海老名・座間市の 高度技術が一堂に会す 県央ものづくり交流会

2月21日(木)10時～17時30分、海老名市民ギヤラリ1(同市中央)で「県央ものづくり交流会」を開催します。

綾瀬・大和・海老名・座間市の企業連携と受発注拡大を目的に、4市のものづくり企業45社が

出展し、卓越技術や自社製品をPRします。技術・経営・金融・特許・ISO・海外展開などの専門家による無料相談会のほか、海洋探査装置江戸っ子1号プロジェクト推進委員会の杉野行雄委員長による講演会、「江戸っ子1号に賭けた夢」を頑張れ!モノづくり

中小企業」なども開催します。近隣地域での取引拡大や経営革新を希望する企業の方のほか、どなたでも入場できます。



図商工振興課 ☎70・5661

### 国民年金保険料の支払者と 年金受給者の確定申告

国民年金保険料を支払うと、全額が所得税・市民税などの控除対象になります。申告には、昨年11月～2月上旬に日本年金機構が発送した「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」(はがき)が必要です(再交付は☎0570・070・117)。払い忘れた同保険料も、昨年中に支払っていただければ控除対象になります。家族の同保険料も、支払者の控除対象になるので、控除証明書を添付してください。

年金受給者が確定・市県民税申告をする場合、同機構が1月中旬に発送した「公的年金等の源泉徴収票」を添付してください。昨年中に受け取った年金総額や、年金から差し引いた所得税額などの証明に必要です。障害・遺族年金を受けている場合は、課税対象外のため発行されません。

図保険年金課 ☎70・5618、厚木年金事務所 ☎046・223・9083。

### 国民年金保険料は 口座振替で前納がお得

1年分(4月～翌年3月分)か6カ月分(4月～9月分、10月～翌年3月分)を口座振替で前納すると、納付書(現金)やクレジットカードで前納するより割引額が多くお得です。1年前納と6カ月前納(4月～9月分)の申し込み期限は市役所が2月27日、厚木年金事務所は2月28日です。前納した期間の途中で厚生年金などに加入した場合は、加入月以降の国民年金保険料が還付されます。

図保険年金課 ☎70・5618、同事務所 ☎046・223・9082。

### 火災・災害への備えを体験・実感 消防・防災フェア



2月24日(日)9時～15時、消防本部で「消防・防災フェア」を開催します(雨天時は規模を縮小)。消防庁舎内や車両の見学、機材や防火服などの展示・体験、消防職団員によるレスキュー・消火訓練の披露や、米海軍厚木基地消防隊の消防車両の展示などを行う予定です。ぜひ家族や友人と来場してください。

昼ごろには、餅と手作りの豚汁を消防職団員と一緒に食べる企画もあります。用意が出来次第、放送が流れるのでお楽しみに(数に限りがあります)。市民文化センター第2駐車場を利用できますが、なるべく公共交通機関を利用してください。

図消防署南分署 ☎78・0119

### いきいき健康

花粉症のセルフケア  
～2月20日はアレルギーの日～

花粉症の三大症状は「くしゃみ」「鼻水」「鼻づまり」と、鼻に現れます。眼のかゆみなども多くみられ、重症になると全身倦怠感なども現れます。一度発症すると、毎年繰り返し、花粉の飛散量が多いほど症状は重くなります。

症状を少しでも軽くするためにはセルフケアが大切です。外出時にはマスク、眼鏡を着用し、体に入る花粉の量を減らしましょう。家の中に花粉を持ち込むことを防ぐために、付きやすい素材の衣服の着用を避け、家に入る前に衣服や髪をはたきましょ。室内が乾燥していると飛散しやすいので、加湿することも効果があります。

症状に応じた治療があるので、心当たりがある場合には、医療機関を受診しましょう。

図保健医療センター ☎77・1133。

### きらめき 市民活動

まちかど特派員  
レポート 近藤秀敏



### あやせ児童作品展 実行委員会

図 日下部  
☎77・7871



▲表彰式

あやせ児童作品展実行委員会は平成12年に発足し、現在5人の会員で、市内の小学生を対象にした絵画の作品展に取り組んでいます。作品展は今年で13回目。当初は綾瀬郵便局コミュニケーションルームで開催し、10回目から文化会館を会場に、より多くの方の参加を得ています。企画から各小学校への応募依頼、審査、会場準備、当日の運営、表彰式、各地での巡回展示など、少ない人数で大忙しです。



▲作品展

昨年10月の作品展では、市内全校の小学生から夏休みに描いた絵画453点の応募があり、審査の結果、入賞作品20点を含む300点が展示されました。会場には多くの親子連れが訪れ、見入っていました。どの作品も感性あふれる力作で、私も深い感銘を受けました。趣旨に賛同した二十数人のボランティアが懸命に働いている姿が目にとまりました。市長賞受賞作品はMOA美術館全国児童作品展にも出展されました。

同実行委員会事務局の日下部さんは「子どもたちの無限に広がる創作活動を支援することができて幸せです。絵を描くことにより生命を尊ぶ心豊かな人間に成長してほしいですね」と語りました。さらに13年間を振り返って「ここまで来られたのも国際ソロプチミストあやせや、子ども会育成連絡協議会など、多くの方々の支えがあったからこそで、感謝しています。これからもご協力くださる方の参加をお待ちしています」と語りました。

作品展がさらに発展することを期待します。